

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム、NPO みらい 有明・不知火 共催

【オンライン講習会】

『有明海・八代海沿岸海域の再生と 持続的な地域創生のために』

深刻なコロナ禍の中、進行する環境悪化、巨大化・頻発化する自然災害のスパイラルに対し、どのように対処していくのか！

この緊急かつ重要な課題について皆様方と議論し意見交換を行うため【オンライン講習会】を企画いたしました。

講習会は2021年1月～2022年7月の間に7回のシリーズを予定しております。テキストはすでに発行しております「八代海再生へのシナリオ」を用いて、八代海沿岸海域の再生と地域創生を事例として取上げていきます。

オンライン会議の下、講習会と意見交換を通じて、今日の環境・防災問題等に関する日本の情勢や政策等を整理するとともに、課題解決に向けての具体策！ やるべきこと！ を行政、民間企業、住民等の立場ごとに**皆様と一緒に考えていきます。**



第2回その1は、

令和3年(2021年)4月27日(月)午後2時～

参加方法

○オンライン講習会申し込み方法：

- ・オンライン講習会でテキストとして使用する「八代海再生へのシナリオ」の申し込みアドレスから申し込みください。

☆熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム HP

<http://www.kumamoto-forum.com/custom9.html>

☆NPO みらい有明・不知火 HP

<http://mirai-ay.or.jp/custom9.html>

- ・なお、お申込みについては、個人（在宅）・事業所・会社単位を基本とし、申込み単位にオンライン講習会参加URL及びIDをご案内（申込代表者宛てにメール）いたします。
- ・同一アカウントの複数利用は原則禁止とさせていただきます。配信障害でオンライン講習会開催に支障をきたす恐れがありますのでご配慮ください。

○テキスト：

- ・「八代海再生へのシナリオ」を使用します。
- ・未購入の方は、NPO法人みらい有明・不知火ホームページ：
<http://www.mirai-ay.or.jp> にアクセスされ、「八代海再生へのシナリオ」の配布コーナー（scenario@mirai-ay.or.jp）をご参照ください。

○参加費用：

- ・無料

☆賛助金のお願い：本講習会は、ボランティアによって運営、配信します。

とは言え、準備、資料作成等に相当の経費が掛かっております。

そこで、本講習会の目指すところに共感いただける方には賛助金をお願いしたいと思っています。賛助金は一口1,000円(一口以上)でお願い致します。

- ・ 賛助金の支払い方法：下記口座宛てに振り込みをお願いします。

①振り込み先：熊本銀行 子飼橋支店（銀行コード：0587、支店番号：102）

普通預金 2172075

口座名義 特定非営利活動法人 みらい有明・不知火理事長 たきかわ きよし 滝川 清

②振り込み先：ゆうちょ銀行 一七九店

預金種別 当座

口座番号 0108229

口座名義 特定非営利活動法人 みらい有明・不知火 理事長 たきかわ きよし 滝川 清

【オンライン講習会】

『有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創生のために』

第1部 八代海はどんな海？

第2回その1 八代海の課題(現状・将来の課題)

挨拶

：熊本大学名誉教授

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム企画運営委員長

NPO みらい有明・不知火理事長

滝川 清

オンライン講習会第1回のおさらい

：熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム

八代海湾奥環境改善保全シナリオづくりPT長

川岸 寛

§.4 八代海は悪くなっているか？

：八代海流域の現状の課題、沿岸域の現状の課題 等

§.5 八代海の将来は？

：八代海の今後の課題 等

八代海の課題について一緒に考えていきましょう！

※今回は、内容が多いため2回に分けて行います。次回(その2)は5月開催の予定です。

スケジュール(予定)

タイトル		年月	内容
第1部：八代海はどんな海？ →八代海の変遷、特徴、現状、将来について参加者と一緒に考えていきます。 キーワード：八代海の特徴、課題(現状・将来の課題)	§1.八代海の今昔 §2.ほかの海との違い §3.八代海を囲う陸地と島	令和3年 2月1日	八代海の概要、八代海の今昔、八代海の代表性、八代海の特 殊性、閉鎖性の特徴等
	§4.八代海は悪くなっている!? §5.八代海の将来は? §6.Q&A	令和3年 4月27日	流域の課題、沿岸域の課題、将来の課題等
	番外1 八代海は美味しい! 1		令和3年 5月
第2部：八代海を取り戻すためにやること！ →八代海の生物、生物を増やすために今すぐやれること、 次の世代のためにやることについて、参加者と一緒に 考えていきます。 キーワード：八代海の再生の目標、沿岸海域の再生	§1.八代海の生き物は？ §2.八代海の生き物と環境の関係は？	令和3年 7月	魚類相、漁獲、食う-食われる関係で成り立つバランス、底生生 物、底生生物と環境の関係、生息環境の重要性
	§3.八代海の再生のゴールは？ §4.今すぐやれることは？	令和3年 10月	生物生息場の保全・創出、特性に応じたゴールの設定、個人・ 組織(団体)・行政でやれること等
	§5.次の世代のためにやることは？ §6.Q&A	令和4年 1月	長期的・持続的対策の重要性、防護・環境・利用の調和等
番外2 八代海は美味しい! 2			
第3部：八代海をいつまでも！ →生活の中での八代海との付き合い方、すぐ始める・続 けていく、という観点から、参加者と一緒に住民、県・ 市・町及び国の機関がやることを決めます。 キーワード：再生方策、国策、IoT、AI、ICT、地域循環 共生圏、SDGs、グリーンリカバリー	§1.みんなの海 §2.八代海との付き合い方は？	令和4年 4月	身近な海という感性の重要性、干潟フェスタ等の事例、再生実 証成果、自然環境・社会環境特性に応じた対策等
	§3.すぐ始めるためには！ §4.続けていくためには！ §5.Q&A	令和4年 7月	事業の予算化、2050年を目途とした再生シナリオ等
	番外3 八代海は美味しい! 3		